解　説

第22章 災害・事故

火災

発生件数、死傷者数ともに増加

 火災件数、死傷者数

 大阪府危機管理室によると、令和5年の火災件数は1,965件で、前年に比べ133件(7.3%)増加しました。おおよそ1日に5件、4.5時間に1 件発生したことになります。

死傷者数は504人で、前年に比べ63人(14.3%) 増加しました。

 発火源別では、たばこやマッチ等それ自身が発火する「火種」によるものが624件(全件数の31.8%)と最も多く、次いで「電気による発熱体」が542件(同27.6%)、「ガス・油類を燃料とする道具装置」が385件(同19.6%)でした。

自然災害

[第22章2、5表より]

人的被害、住家被害とも増加

消防白書等によると、令和5年の風水害による被害は、人的被害が10人(重傷者1人、軽傷者9人)、住家被害が147棟(全壊1棟、一部破損110棟、床上浸水3棟、床下浸水33棟)でした。



 自然災害による人的被害、住家被害

[第22章13表、総務省消防庁「消防白書」、大阪府「大阪府災害年報」より]

労働災害

死傷者数は大幅に減少

 産業別労働災害による死傷者数

 労働者死傷病報告によると、令和5年の労働災害による死傷者数(死亡・休業4日以上のもの)は1万1,176人で、前年に比べ1万1,566人(50.9%)と大幅に減少しました。

産業別では、「製造業」が1,772人(構成比15.9%)と最も多く、次いで「商業」1,520人(同13.6%)、「陸上貨物運送業」1,365人(同12.2%)です。

[第22章3表より]

交通事故

発生件数、死者数ともに2年連続微増

大阪府警察本部によると、令和5年の交通事故発生件数は2万5,951件で、前年に比べ442件(1.7％)増加し、2年連続で増加となりました。死者数は148人で、前年に比べ7人(5.0%)増加しました。

 交通事故発生件数、死者数

[第22章9表より]

令和5年の自転車関連の事故件数は9,041件で、前年に比べ186件(2.1%)増加しました。

そのうち対歩行者事故件数は387件で、前年に比べ16件(4.3%)増加しており、10年前(平成25年)の約1.4倍です。



※自転車関連の事故件数：「自転車が第一当事者の場合の件数」＋「自転車が第二当事者の場合の件数」－「自転車同士の件数」

 自転車事故件数、うち対歩行者事故件数

[第22章9表より]